

千葉県リハビリテーションセンターは千葉県の委託を受けた県の支援拠点機関として高次脳機能障害支援に取り組んでいます。右の模式図は千葉県全体の支援体制を表しています。

特集1では、高次脳機能障害の理解を広め、当事者支援の方策を開発・普及することを目的とした「高次脳機能障害支援普及事業」のために活動する4つのプロジェクトを紹介します。

特集2では当事者・家族等への相談支援、地域支援などを担う「高次脳機能障害支援センター事業」の一部を利用の流れに沿って紹介します。

千葉県リハ高次脳機能障害支援体制模式図



成人高次脳リハプロジェクト

成人の高次脳機能障害の方を対象としています。医師、心理士、ソーシャルワーカー、PT、OT、ST、看護、視能訓練士といった多職種メンバーで、高次脳機能障害の支援に役立つ患者支援や家族支援に取り組んでいます。また、高次脳機能障害の支援に携わるスタッフの教育にも力を入れています。

【主な取り組み】

- ・医療リハとしてのグループ訓練 (写真右上)
- ・生活リハプログラムの取り組み
- ・健康管理のセルフマネジメント
- ・能力獲得に向けた支援
- ・家族講座
- ・自動車運転再開の評価・支援
- ・職員向け高次脳学習会 (写真右下)



▲医療リハOTグループ訓練の様子



▲スタッフ向け学習会の様子

地域生活復帰支援プロジェクトは、医療、支援センター、更生園の職員11名から構成され、職種もPT、OT、心理士、現場の支援員など様々です。目的としては、高次脳機能障害支援普及事業の4本の柱の一端として、高次脳機能障害を持っている方々の地域生活支援と社会復帰支援の両方を対象にしています。まずは、当センター内で行っている生活パスや生活版ジョブコーチの取り組みなどを通して、地域での生活をより考えていくことが出来ればと考えています。

【主な取り組み】

- ・支援方法やツールの開発と普及 (生活パス、生活版ジョブコーチ支援等) (写真右2枚)
- ・各種学会への研究発表
- ・アンケート調査と分析

▼生活パスを見ながらチェック



▲高次脳生活パス用紙

地域生活復帰支援プロジェクト

就労移行支援プロジェクト



▲カフェ輪駆開催の様子



▲就労支援機関向け研修会

就労・復職を希望する高次脳機能障害者が、就労・復職、あるいは職場定着(就労継続)するために必要な支援方法を探る目的としたプロジェクトです。医療施設、高次脳機能障害支援センター、マッチドオフィス、更生園のスタッフが連携して取り組んでいます。メンバーはPT、OT、ST、心理士、ソーシャルワーカー、支援コーディネーターで構成されています。

【主な取り組み】

- ・就労支援機関向け研修会 (写真左下)
- ・就労生活に関する悩みを語る会開催 (写真左上) (カフェ輪駆、ヤングカフェ)
- ・調査研究
- ・マッチドオフィス運営検討



▲学校訪問支援の様子

小児のプロジェクトは、医師、看護師、PT、OT、ST、心理士、SW(支援コーディネーター)の多職種で構成されています。高次脳機能障害のあるこどもたちへの評価・訓練・社会復帰支援を行うと同時に、千葉県における拠点機関として、医療機関、福祉施設、学校等との連絡調整を図り、支援ネットワークを構築する事を目的に活動をしています。

【主な取り組み】

- ・グループ訓練
- ・学校教職員・地域支援との連携 (写真左)
- ・家族支援および家族会活動への協力
- ・外部向け研修会
- ・運転免許取得に向けての相談支援の検討

小児高次脳リハプロジェクト